

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に登録された教科書総数	本報告書の総ページ数
小学校	算数	6	2

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点 発行者	基礎・基本の定着 (単元の流れ, 導入と学習内容)	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量 (ページ数, 単元の配列・分量, ヒントや吹き出し数)	内容の表現・表記 (視覚資料, 図・表の扱い)	言語活動の充実 (説明等の場面設定, ノート指導の記載等)
2 東書	<p>○単元の導入で, 単元全体に関わる焦点化した問題を提示し, 少ない課題でじっくり考えさせるようにしている。</p> <p>○単元間に「おぼえているかな?」を設け, 既習事項を確認するページが用意されている。</p> <p>○練習問題が適量で, 理解の定着をしっかり行うことができる。</p> <p>○特設ページ「ふりかえりコーナー」で学習内容が簡潔に整理され, 復習できるようになっている。</p>	<p>○面積の求積の「公式をつくろう」という課題を設定し, 創造的な学習の展開を仕組んでいる。</p> <p>○「力をつけるもんだい」「しあげ」と自力解決問題を多く取り入れている。</p> <p>○「算数の目で見よう」という社会的な事象を数学的に解釈する問題を取り入れている。</p> <p>○生活や社会でのデータを用いて, グラフや関数の問題にし, 生活に活かすように仕組んでいる。</p> <p>○トレーシングペーパーが準備されている。</p>	<p>○ヒントや吹き出しは適量である。</p> <p>○「算数の目で見よう」等複数の単元や領域の内容を総合的に活用する問題を多く取り上げている。(5年生以上)</p> <p>○単元末の「しあげ」の右側注に質問方式で, 単元の中での学習内容の重要な知識や技能, 考え方に気付くように構成されている。</p> <p>・教科書ページ数 低学年平均 200P, 高学年平均 250P</p>	<p>○6人の児童(名前区別あり)と立体(ボール・キューブ・テトラ)の吹き出しが手がかかりとなり問題解決に役立つ。またチャレンジや補充のキャラクター, ふりかえりのやじるしが適宜入れられている。</p> <p>○全体の色使い, 文字の大きさ・太さ, 色等に工夫があり, 分かりやすい。特に図や数直線の線が若干太く強調されており, 大事な式や考え方, 問題を枠で囲み, それぞれに決まった色が付いていて区別しやすく分かりやすい。</p> <p>○作図や筆算など手順を思い出すための説明が丁寧に図示してある。</p>	<p>○特設ページ「算数マイノートをつくろう」の見開き2ページを2箇所(箇所)に設け, 実際のノートを例示し, 書き方の工夫(書くときの良い項目)や感想の視点を別に明確にして表記している。</p> <p>○単元間に設けてある「考えよう伝えよう」には図や式など算数的な表現を用いて書く, 説明しよう, 話し合おうという言語活動例が示されている。</p>
4 大日本	<p>○5・6年生の巻末に「チェックアンドトライ」という前学年の内容の定着を図る問題が用意されている。</p> <p>▲「文字を使った式」の単元では, 図形の求積を導入問題とし, 学習の主題が分かりやすく学習の見通しを立てにくい。</p>	<p>○学習のはじめに生活の事象が取り上げられており, 学習問題もスポーツなど児童が興味を持ちそうな話題が使われている。</p> <p>○「算数玉手箱」という社会的な事象を数学的に解釈する問題を取り入れている。</p>	<p>○問題を提示後, ページをめくらないと解決方法や答えが見えない構成となっており, 既習内容をもとに問題の解決を図る学習活動を充実させやすい。考え方や理由を書き込むスペースがふんだんに用意されており, 個人思考や表現の場を設定している。</p> <p>▲「文字を使った式」の単元では, 面積の求積を問題として多く取り扱っており, 多様性や他への適用性に欠ける面がある。</p> <p>○「ふりかえろう」が適宜設定され, 振り返りの視点が分かりやすい。</p> <p>・教科書ページ数 低学年平均 200P, 高学年平均 246P</p>	<p>▲文字や絵図が小さめで, 紙質のためか発色が悪く紙面にメリハリがない。</p> <p>○1時間で学習する内容の見通しが持てる印(葉っぱ)を示している。</p> <p>○うさぎと複数の児童の吹き出しが手がかかりとなり問題解決に役立つ。「ふりかえろう」のかえるのキャラクターも適宜入れられている。</p>	<p>▲特設ページ「算数の学び方」の見開き2ページを教科書のはじめの方に設け, 実際のノートを例示しているが, ノートの書き方のポイントは3点のみで不十分である。</p>
11 学図	<p>○「学びの準備」という既習事項を確認するページが用意されている。</p> <p>○1時間の指導内容が精選されており, ゆとりがある。</p> <p>▲相対的に練習問題が少なく, 理解の定着を図りにくい面がある。</p>	<p>○単元に入る前に「学びの準備」というページがあり, これまでの生活経験を振り返る「見たことあるかな」とレディネス問題の「思い出してみよう」を設けている。</p> <p>○単元間に「チャレンジ算数を使おう」のコーナーがあり, 生活の中で学習したことをつかって問題解決型の学習が設定できるようになっている。</p>	<p>○全体的な余裕のある構成で, 精選されている。</p> <p>○6年生に別冊の「中学校へのかけ橋」があり, 前半は復習, 後半は中学校の数学に体験的に触れさせる工夫がある。</p> <p>・教科書ページ数 低学年平均 219P, 高学年平均 275P</p>	<p>○卵のようなキャラクターと4人の児童の吹き出しが手がかかりとなり問題解決に役立つ。まとめの吹き出しでは博士のキャラクターが適宜入れられている。</p> <p>○色鮮やかな写真であり, 絵図等にも立体感がある。</p> <p>○3学年の「表とグラフ」の資料に, 教科書の右下隅に様々な車の写真が掲載されている。「正」で集計する学習の必要性を体感できる。</p> <p>○2年生以上の巻頭「さんすうたんけんたい」では, 身近に存在する算数的事象を写真で紹介しており, 興味関心を高めたり, 生活の中の算数の有用性に気付かせることに役立つ。</p>	<p>▲特設ページ「ノート名人になろう」を1ページ設け, 実際のノートを例示し指導のポイントを簡単に説明しているが, 情報量が不十分である。</p> <p>○教科書冒頭に見開きページで, 「算数でよく使う考え方」として, 類推・帰納・演繹などの考え方の具体例を示して説明している。</p>

17 教出	<p>▲「文字を使った式」において導入から計算の仕組みや3つの文字を示すなど、難解な場合がある。</p> <p>○各単元の中にある適用問題、練習問題が厳選されており、理解の定着をしっかりと行うことができる。</p> <p>○特設ページ「学びの手引き」でつまずきの多い作図技能について丁寧に解説し、「学びのマップ」(5・6年)で、既習事項の復習ができるようにしている。</p>	<p>○単元末のまとめで、4コマ漫画で振り返らせ、復習への意欲・関心を高めている。</p> <p>○単元末で「学んだことを使おう」という活用する問題を取り入れている。</p> <p>○学年末に「算数を使って考えよう」というコーナーを設け、いくつかの資料を見て総合的に課題を解決する問題が用意されている。(4年生以上)</p>	<p>▲単元名のみでの記載で、単元のめあてが記載されていない。</p> <p>○学年初めに、授業びらき用の教材が用意され、学習の流れが示されている。</p> <p>○ページ下のトピック「よくあるまちがい」の記述は児童の実態をとらえており、主体的な学習につながる。</p> <p>○家庭学習問題「ステップアップ算数」は単元ごとに、「きほんの問題」と「レベルアップの問題」が設けてあり、主体的に学習できるようになっている。</p> <p>・教科書ページ数 低学年平均 222P, 高学年平均 266P</p>	<p>○既習事項をいかして考えることを促すどころちゃんと、発展的な見方を促すぐりちゃんを設けている。4人の児童の吹き出しが手がかりとなり問題解決に役立つ。</p> <p>○全体の色使いが優しい。オレンジ系の色を多く取り入れている。</p> <p>○算数用語が赤字で示されており、キーワードとして分かりやすい。</p> <p>○問題文の文字が大きく、問題に着目しやすい。</p> <p>○余白が十分にあり、1ページ全体が見やすく、無理に開く必要がなく扱いやすい。</p> <p>○問題番号等の記号の種類が少なく、分かりやすい。</p>	<p>▲特設ページ「学びの手引き」として「友だちのノートを見てみよう」を設け、実際のノートを例示しているが、ノートづくりのポイントが分かりにくい。</p> <p>○教科書の上巻に「算数で使いたい考え方」として、子どもの言葉で数学的な考え方が示されている(3年生以上)。</p>
61 啓林館	<p>▲面積の後半部分(台形・ひし形)の記述が少なく、理解に時間を要する場面の内容が少ない。</p> <p>○1時間1ページの学習の構成の中では、練習問題が少なく見えるが、巻末の「もっと練習」で練習問題が確保されており、個別に対応できる。</p> <p>○単元に入る前に、既習事項を確認するページが用意されている。</p> <p>○「算数アスレチック」という、学習した内容を再確認するページが、節目節目に設けられている。</p>	<p>▲課題提示の際に、大胆に紙面を使用しているが、問題意識の高揚には効果的とはいえない。</p> <p>▲「算数実験室」「読み取る算数」「わくわく算数学習」など、トピックスが多く入っているが、問題の量や種類が多い。</p> <p>○色紙などを使った作図や算数の自由研究など、楽しみながら学ぶコーナーがある。</p>	<p>○概ね1単位時間1ページの学習の構成であり、1ページずつに適用問題を配置するようにし、習得の状況を評価できるようにしている。</p> <p>○右脚注「おたすけ」「きっかけ」等、言葉で示した吹き出しがあり、理解や思考を深める支援には有効である。</p> <p>○低学年段階から、単元間の随所に総合的に活用する問題を多く取り上げている。</p> <p>○5学年の面積の学習では、三角形→平行四辺形の順で進める構成となっている(他社は逆)。</p> <p>○計算領域の練習問題では、例題との関連が明記されているので分かりやすい。</p> <p>・教科書ページ数 低学年平均 246P, 高学年平均 284P</p>	<p>○鉛筆と4人の児童の吹き出しが手がかりとなり問題解決に役立つ。</p> <p>▲写真が少なく、絵に統一感がない。</p> <p>○表紙の表裏の絵に算数的な意味を持たせ、工夫している。</p> <p>▲入門期において、「5」のかたまりで捉えさせるので「10」のかたまりで捉えることにつながりにくい。大きい数の図示が数え棒になっている(他社はタイル図)。</p> <p>○教科書の使い方・学習の進め方を上のP4～7までにとっても分かりやすく表記している。「下」には目次の次頁にコンパクトにまとめてあるのが分かりやすい。</p>	<p>○特設ページ算数資料集 考えがよく分かる「わくわく算数ノート」を設け、二つのノートを比較し、よいノートにするポイントを説明している。</p> <p>○巻末に算数資料集があり、分かりやすい説明の仕方が、話型とともに示してある。</p> <p>○巻末の算数資料集は、色分けされており、指導すべき内容がひとまとめになって、活用しやすい。</p>
116 日文	<p>▲側注は、補足やヒントなど工夫されているが情報量が多い。</p> <p>○単元に入る前に、「次の学習のために」という既習事項を復習するレディネス問題が用意されている。</p> <p>○巻末に「算数マイトライ」という習熟度に応じて難易度の異なる自力解決のための問題が用意されている。</p>	<p>○生活や社会に関連付けた内容「いち・に・算活」を単元内に取り上げ、学習したことを実際の場面に活かすことで学ぶ意欲につなげている。</p> <p>○学年末に、理由や方法を記述させる活用問題が用意されている。(4年生以上)</p> <p>○巻末付録:問題解決的な学習を進めていく上での資料「学び方ガイド」と「算数で使いたい言葉・考え方」がついており、切り取って随時使用できる。</p>	<p>▲横長 AB 版紙面は、机上の占有面積が大きく、他の作業ができにくい面がある。</p> <p>○絵や図、言葉、式などの相互の関連を整理したり図を使いこなしたりするためのページが「よみとろう あらわそう」として設けられている(2年生以上)。巻末ではなく、単元間に設けられ、具体的な例題とリンクしている。</p> <p>○「いち・に・算活」に、算数的活動ともリンクさせながら、発展問題的な扱いの課題が単元間に設けられている。</p> <p>・教科書ページ数 低学年平均 248P, 高学年平均 293P</p>	<p>▲6人の児童が吹き出しや考えの提示などで学習を進めたり、深めたりする役割を果たしている反面、児童に提供する情報量が多くなり過ぎる面ある。</p>	<p>○特設ページ「算数ノートをつくろう」を設け、実際のノートを例示し指導のポイントを説明している。</p> <p>○問題番号にあるコメント「どうしてがいえるかな」や右側注のコメント「もう一度考えよう」、特設ページ「活用」等において、考え方を言語化させる場を設定している。</p>